

「鴨川流域ネットワーク」(仮称)について



1 「鴨川流域ネットワーク」(仮称) の目的

鴨川流域懇談会の基本方針に基づき、千年の都を流れる鴨川の河川美化啓発活動を通じて、鴨川流域の地域創生に寄与することを目的とする。

～鴨川流域懇談会について～

■懇談会の役割

鴨川を対象として、治水、利水、環境といったいわゆる河川の機能面だけでなく、その歴史性や文化性に着目しつつ、鴨川を巡る様々な課題やその解決の方向性、さらには今後の鴨川のあるべき姿について幅広く議論を行った。

この議論を踏まえた上で、鴨川条例や鴨川河川整備計画が策定された。

■設置年月日：平成17年3月26日

■懇談会委員

座長 中川博次 立命館大学客員教授、京都大学名誉教授

委員 嘉田由紀子 京都精華大学教授

// 金田章裕 京都大学副学長

// 杉江貞昭 鴨川を美しくする会事務局長

// 田中真澄 鴨川の自然をはぐくむ会代表、岩屋山志明院住職

// 中村弘子 漆工芸家千家十職塗師第十二代中村宗哲

// 新川達郎 同志社大学教授

// 西村明美 柁家株式会社取締役

// 村田純一 京都商工会議所会頭、村田機械株式会社代表取締役会長

// 森谷尅久 武庫川女子大学教授

// 吉澤健吉 京都新聞社編集局次長

(敬称略、委員五十音順)

行政京都府土木建築部長

// 京都市建設局長

■基本方針

・安心・安全の鴨川をめざして

・千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

・より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

2 経 過

- ◆ 第29回鴨川府民会議(H27.3.4)
鴨川を美しくする会メンバー杉江氏から鴨川基金(仮称)創設提案
- ◆ 第30回鴨川府民会議(H27.6.10)
鴨川基金(仮称)について、今後議題とすることを決定
- ◆ 第31回鴨川府民会議(H27.9.11)
基金事例や用途を紹介し、意見交換
- ◆ 第32回鴨川府民会議(H27.12.18)
 - ・ 鴨川基金(仮称)創設に向け、設立準備会発足を決定
 - ・ 構成メンバーは金田座長、川崎副座長、新川委員、杉江委員の4人
 - ・ 事務局は鴨川府民会議事務局
- ◆ 鴨川基金設立準備会(第1回H28.1.28、第2回H28.3.3)
鴨川流域の地域創生を目的とする「鴨川流域ネットワーク(仮称)」を一般社団法人として設立し、その資金調達方法として当該社団内に鴨川基金(仮称)を創設することを、次回鴨川府民会議に提案する旨決定

3 一般社団法人「鴨川流域ネットワーク」(仮称) の事業

(1)河川環境保全に関する事業

地元住民、企業、京都府及び京都市が相互に連携し、オール京都でボランティア等と協働することにより、河川美化啓発イベントや植栽した樹木の管理などの維持管理支援を行う。

(2)河川ボランティア育成に関する事業

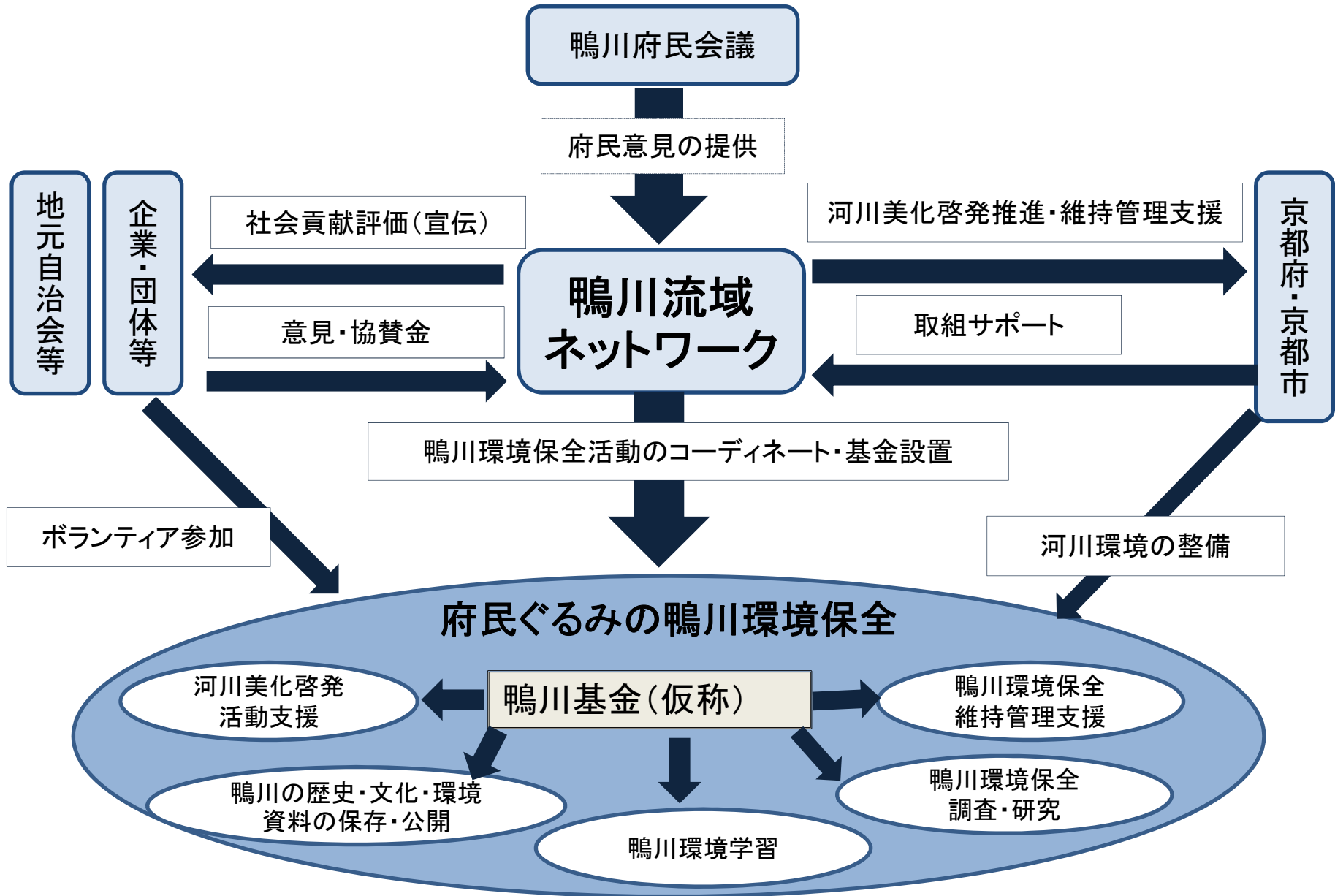
子供たちに河川美化啓発の重要性を学んでもらうことにより、将来の河川ボランティアの育成を図るため、親子で楽しめる鴨川の清掃活動、自然観察会及び歴史・文化・環境・防災学習会などを行う。

(3)鴨川基金(仮称)及び賛助会員募集事業

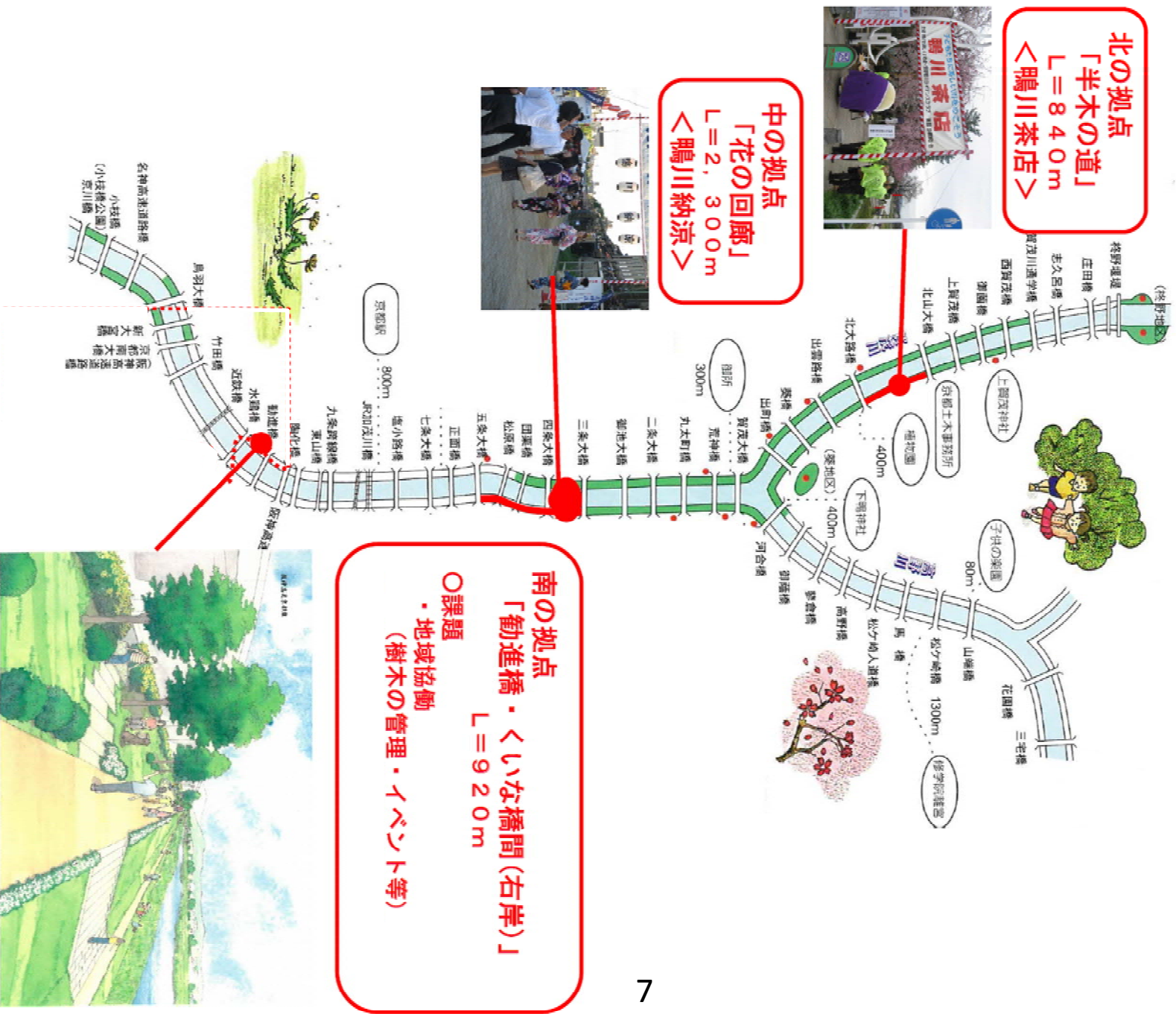
以上のような事業を行うため基金を設け、広く寄附を呼びかける。

4(1) 河川環境保全に関する事業

地元住民、企業、京都府及び京都市のオール京都で鴨川環境保全の仕組みづくりを行う。



河川美化啓発イベントや河川維持管理支援の例



4(2)河川ボランティア育成に関する事業

親子で楽しめる鴨川の清掃活動、自然観察会、歴史・文化・環境・防災学習の実施

- 主催 一般社団法人鴨川流域ネットワーク(仮称)
- 応募 新聞告知による公募(協賛会員募集)

※参加者に鴨川基金への一口募金募集、個人・団体賛助会員入会勧誘



清掃活動



自然観察会



魚釣り



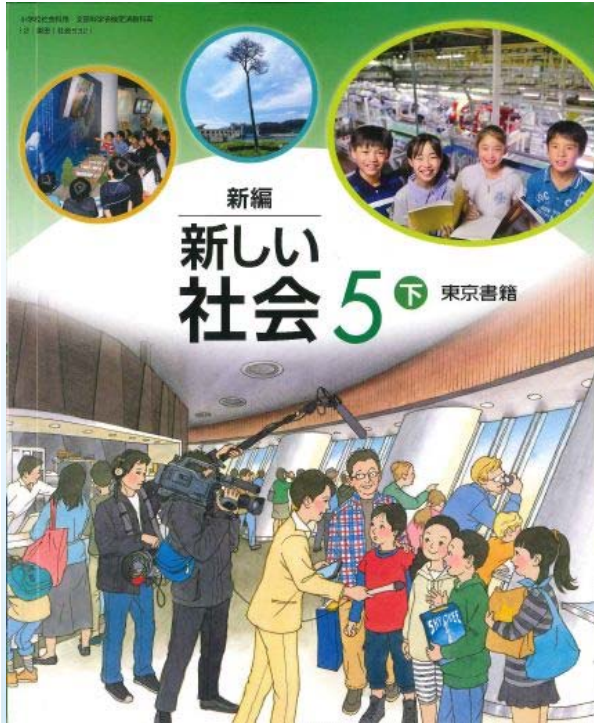
魚掴み 8



歴史・環境学習

4(2)河川ボランティア育成に関する事業

平成17年から鴨川のボランティア活動が教科書に掲載



を守るために 美しさを取りもくの人々に親しまれるようになったことも起こるようになります

た人がごみを残して帰ったり、たりすることがあって、地域のったそうです。」



① 子どもたちに、鴨川の環境について話す杉江さん



③ 鴨川合同クリーンハイク(せいそう活動)



鴨川を美しくする会の杉江さんの話

この会は、50年ほど前に発足しました。美しい鴨川を未来に伝えたいという思いから、さまざまな活動を続けています。春の鴨川茶店や夏の鴨川納涼は市民のみなさんにとっても楽しみにしてもらっています。みなさんの協力のおかげで、鴨川の水はきれいになりました。そのかわりに後始末をせずにバーベキューをしたり、川ぞいにバイクや自転車をとめたままにしたりする人がいて、たいへんこまっています。京都のほころ鴨川が、いつまでも美しくあってほしいと願っています。

京都府鴨川条例

鴨川は、京都の歴史と文化を育ててきた川であり、いこいの場として多くの人に親しまれていますが、さまざまな課題もあります。

この条例は、鴨川を環境を安心・安全でかいてきなものとして次の世代に引きつぐためにつくられました。例えば、次のようなことが禁止されました。

- ・自動車などの乗り入れ、自転車などの放置、打ち上げ花火、バーベキュー、落書き…などをする事

② 条例で禁止されたことを示すかんばん



「京都府は話し合いを重ねて鴨川条例という条例をつかったそうです。」

「鴨川を美しくしたいという人々の願いが条例になったんだね。」

「条例があるから環境を守るという考えよりも、みんなが気持ちよくすごし、鴨川のことを考えるように行動することが必要だと思います。」

「わたしたちの京都市の環境問題はほかにもないのかな。」

「ぼくはきれいなまちのながめをこわすことも環境問題だと思います。」

京都市では、まちのながめが伝統ある市のイメージをそこなわないように、建物の高さやデザイン、屋外の広告を制限する「新景観政策」を進めています。

ことは

条例 都道府県や市区町村が、国の法律とは別につくることができるきまりのこと。地域ごとの人々の願いを実現するために定められます。

まなび方コーナー 体験のしかた

地域の環境問題に取り組む

- 役所の担当の方に活動やイベントをしようかいてもらう。
- 活動やイベントに参加して、取り組みの様子に直接ふれてみる。
- 活動団体の方に話を聞くことができれば、インタビューしてみる。

地域の環境を守るための人々の取り組みや条例がありました。では、そのほかの京都市民の取り組みについて見ていきましょう。

4(3) 鴨川基金(仮称)及び協賛会員募集事業

鴨川茶店・鴨川納涼・京の七夕等での協賛会員の河川美化協賛PRブースの設置

●鴨川茶店

- ・主催 鴨川を美しくする会、京都鴨川ライオンズクラブ
- ・時期 2016年4月9日(土)、10日(日)予定
- ・場所 京都府立植物園西側 鴨川左岸(なからぎの道)

●鴨川納涼

- ・主催 鴨川納涼実行委員会
- ・時期 2016年8月6日(土)、7日(日)
- ・場所 鴨川右岸(三条大橋～四条大橋)

※2015年来場者数

鴨川茶店 2日間計 35,000人

鴨川納涼 2日間計 230,000人

京の七夕 10日間計 441,000人(鴨川会場)

●京の七夕(鴨川会場)

- ・主催 京の七夕実行委員会
- ・時期 2016年8月6日(土)～12日(金)
- ・場所 鴨川右岸(御池大橋～四条大橋)

※参加者に鴨川基金への一口募金募集(個人・団体賛助会員入会勧誘)



鴨川茶店



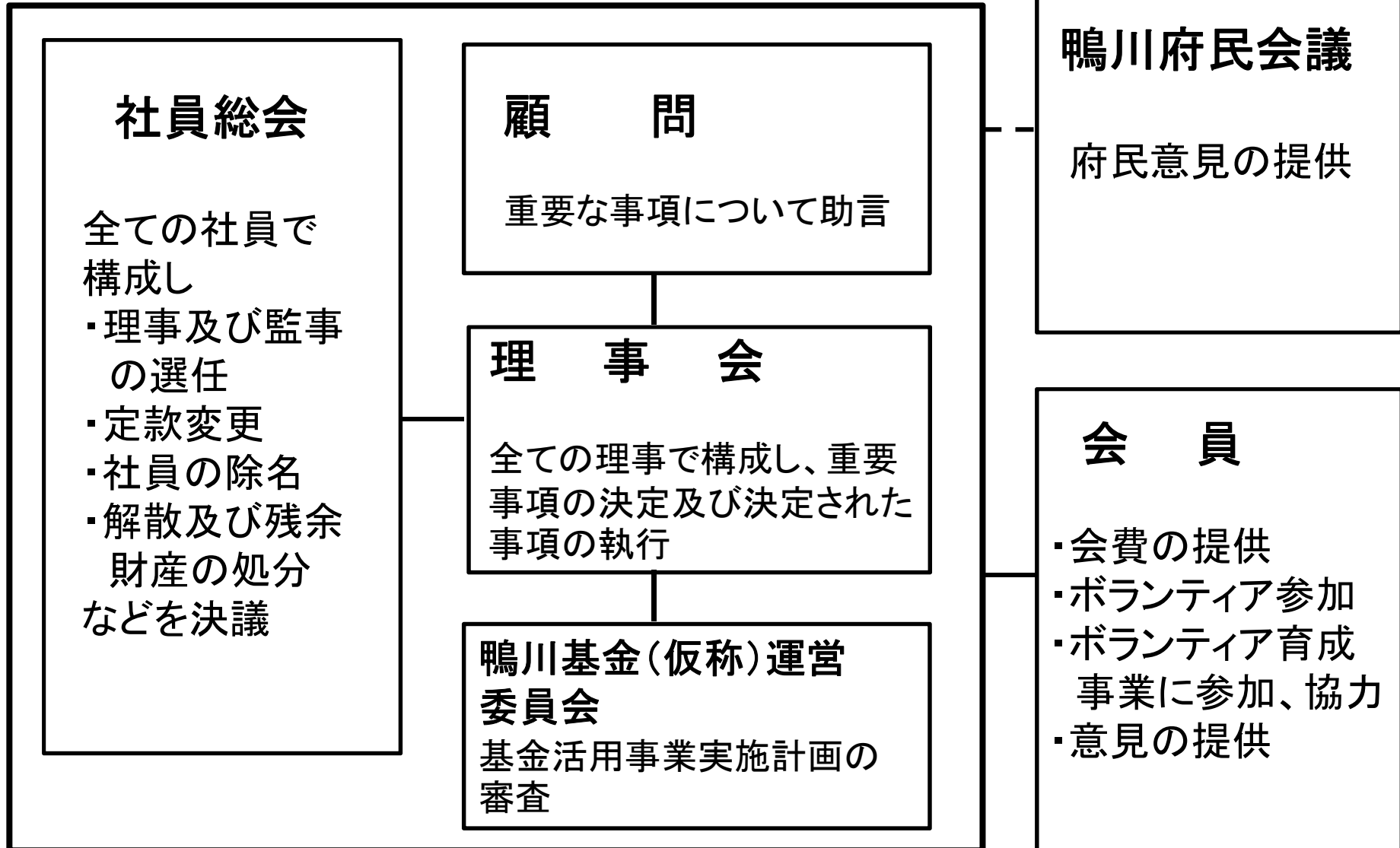
鴨川納涼 10



京の七夕

5 組織図

鴨川流域ネットワーク



6 会員の種類と目標

◆協賛会員 目標30団体(年会費 一口 300,000円)

この法人の目的に賛同して入会した団体又は個人で理事会で承認された者

地元マスメディアや鴨川茶店・鴨川納涼・京の七夕等を通じて当団体の河川美化啓発に協賛いただいていることをPR

◆団体賛助会員 目標300団体(年会費 一口 10,000円)

この法人の事業を賛助するため入会した団体
鴨川の清掃活動への作業用品貸与や回収したごみの処理を実施

◆個人賛助会員 目標2000人(年会費 一口 1,000円)

この法人の事業を賛助するため入会した個人
鴨川河川美化啓発オリジナルステッカーを配付
親子で楽しめる河川美化啓発事業をメールで配信し、一般公募より優先参加

7 一般社団法人設立までのスケジュール

